

事務連絡
令和6年10月24日

各都道府県建設業協会 事務局 御中

一般社団法人全国建設業協会
事業部

日建連表彰・土木賞の広報のご協力について（周知依頼）

平素は、本会の活動に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、一般社団法人 日本建設業連合会より「日建連表彰・土木賞」に関する案内がありました。

本表彰事業は、創設されてから現在第5回目と歴史も浅く、PRの重要性を感じていることから、当会に対して周知依頼がありました。次回「第6回土木賞」の募集要項発表は、本年11月頃に予定しており、日建連非会員企業も応募が可能である他、会社規模等の要件も問わないとのこと。 ※貴会会員企業からの応募の際には、大変お手数ですが、当会事業部へご報告をいただきますようお願いいたします

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、貴会会員企業の皆様へ別添資料の内容について、周知賜りますようお願い申し上げます。

【添付資料】

1. 日建連から協力依頼_土木賞
2. 日建連表彰土木賞パンフレット

【参考 URL】

「日建連表彰・土木賞」に関する情報（日建連HP）

<https://www.nikkenren.com/doboku/prize/>

以上

【担当】 事業部 森島 TEL : 03-3551-9396 FAX : 03-3555-3218 E-mail : jigyo@zenken-net.or.jp
--

2024年10月15日

一般社団法人 全国建設業協会 御中

一般社団法人 日本建設業連合会
常務執行役 岩田 美幸

日建連表彰・土木賞の広報のご協力について(お願い)

平素より当会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
日建連では建築部門・土木部門で表彰事業を行っており、土木部門の「土木賞」については、創設されてから現在第5回目と歴史も浅いことから、PRの重要性を感じております。
つきましては、「土木賞」について、貴団体会員の皆様への周知をしていただきたく、下記資料の配付等を通じてご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

《配付資料》 土木賞パンフレット

以上

(本件に関するお問合せ)
土木グループ 土木賞担当
北浦、五十嵐
03-3552-3201

土木賞選考委員会

木村 亮	京都大学	岩波 基	早稲田大学
田島芳満	東京大学	杓掛敏夫	国土交通省
野中 賢	日経BP	多田 智	建設コンサルタンツ協会
杉山玄六	日本建設機械施工協会	河上清和	日建連表彰委員会土木部会
清水正巳	日建連表彰委員会土木部会	中田 稔	日建連表彰委員会土木部会

(2024年9月1日時点)

表彰パネル・賞牌



発注者（施設管理者）に贈られる、受賞したプロジェクト・構造物に取り付けることのできるブロンズ製表彰パネル



設計者、施工者及び建設関係者に贈られる賞牌

事業の意義を継承し
土木技術の進歩向上を目指す
日建連表彰土木賞への応募をお待ちしています



〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館8階
URL <https://www.nikkenren.com/doboku/prize>



日建連表彰土木賞

The Construction Excellence Prize of the JFCC Award



日建連表彰土木賞

日本建設業連合会(日建連)では、60年の長きにわたり、わが国の優れた建築物を表彰してきた「BCS賞」に並ぶ新たな表彰として、2020年、「日建連表彰土木賞」を創設しました。「土木賞」は、社会基盤として国民生活と経済活動を支える土木分野の優れたプロジェクト・構造物を表彰するものです。出来上がった構造物だけでなく、事業企画から設計・施工、維持管理まで

を視野に入れ、施工の過程で直面する様々な問題を解決しながら、関係者が一丸となり、現場で要求される品質をいかにクリアしたかを選考の視点とする新たな表彰制度です。日建連は、良好な土木資産を創出し、国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与すべく、土木賞をはじめとする活動を進めて参ります。

【日建連表彰土木賞ロゴについて】

土木賞の特徴である「多様な関係者」を六角形の輪郭とし、その共通する視点として、六角形の中心に位置する施工プロセスを具現化するため、応募の多い代表的な土木構造物であるダム・トンネル・橋梁を配しました。さらに、立方体として3次元を表現することで、3Dデータなど最新技術の活用を通じた土木技術の進歩向上への貢献を表しています。

日建連表彰「土木賞」の概要

- ① 募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象にします。
- ② 施工者は勿論のこと、発注者や設計者など幅広い関係者の応募が可能です。
日建連会員以外の建設会社が施工した案件も対象になります。
- ③ 施設管理者（発注者を含む）、設計者、施工者（これを支える専門工事業者等を含む）など多様な関係者を表彰対象者にします。
- ④ 施工者団体が設ける賞として、事業企画から維持管理までの総合評価に加え、**施工プロセスの視点**（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など）を重視します。
- ⑤ 固有の課題への取り組みで特に優れているものを**特別賞**として表彰します。
- ⑥ 特別賞を含め10件内外を表彰します。
- ⑦ 受賞者には、表彰状、表彰パネル、賞牌を贈呈します。
- ⑧ 選考にあたっては、学識者、行政、建設コンサルタント、建設施工機械メーカー、メディア、施工者から構成される選考委員会で多面的な評価を行います。



※施設管理者（発注者等を含む）、設計者、施工者を支える関係者

特別賞について

総合評価の結果によらず、固有の課題に対する取り組み（施工プロセスを支えた活動、技術開発など）で特に優れた案件を、土木賞の中で特別賞として表彰することとしています。
いわば、施工プロセスにおいて「何かキラリと光る取り組み」に焦点を当てて選考を行います。

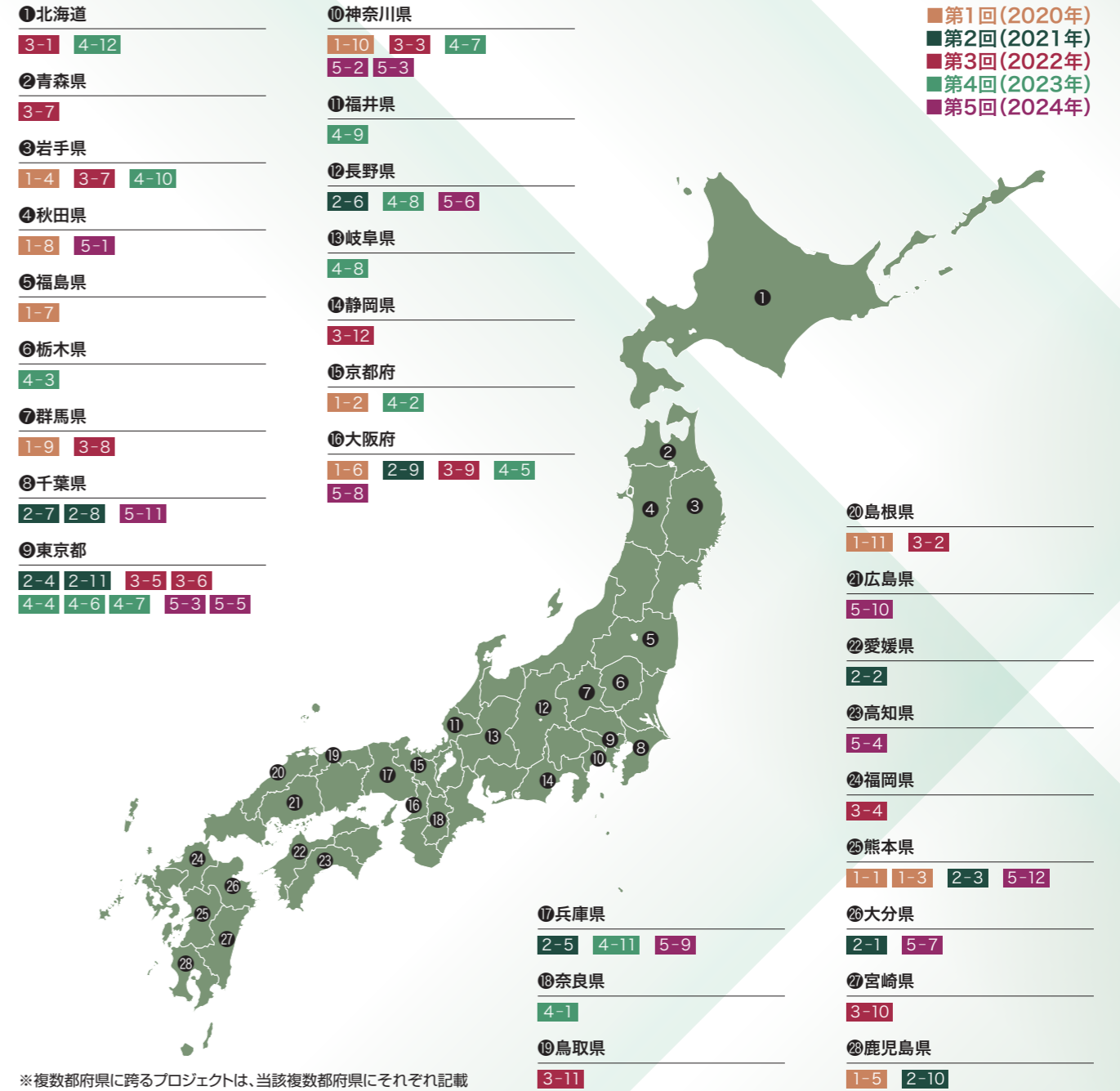
- ◆ **キラリと光る取り組み**
以下のような、型にはまらない切り口による課題への挑戦が、特別賞として着目されています。
- ◆ 新しい技術を活用しつつ、技術の伝承
 - ◆ 前例がなく手探りの施工
 - ◆ 構造物の歴史的価値と当時の施工技術の保全
 - ◆ 地域住民との協働
 - ◆ 地球温暖化対策（カーボンニュートラル）
 - ◆ 厳しい工期への挑戦

日建連表彰「土木賞」で期待される効果

毎年、優良なプロジェクト・構造物を表彰し、広く内外に紹介することにより、土木に係る事業企画の質及び計画・設計、施工、環境、維持管理、その他土木技術の進歩向上を図ることができます。
その結果、良好な土木資産を創出し、わが国の国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することが見込めます。（日建連の目的（定款3条）の達成）

受賞プロジェクト・マップ

※下記の番号と色は、次ページ以降に紹介している受賞プロジェクトに対応



「日建連表彰 土木賞
—建設業の功績と価値を未来へ—
PR映像



PR映像はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL <https://www.youtube.com/watch?v=MjBVphvYdDM>



第1回 (2020年)

The 1st Construction Excellence Prize

1 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事

i-Constructionを活用した迅速・安全な大規模災害復旧



所在地/熊本県 竣工日/2017年11月20日

2 天ヶ瀬ダム再開発 トンネル放流設備流入部建設工事

3次元に可視化して高難度な水中工事を克服



所在地/京都府 竣工日/2019年3月29日

3 荒瀬ダム本体等撤去工事

日本初の本格的なコンクリートダム撤去工事



所在地/熊本県 竣工日/2018年3月20日

4 国道45号夏井高架橋工事における i-Bridge の取組み

橋梁工事における生産性向上「i-Bridge」を実施



所在地/岩手県 竣工日/2018年9月28日

5 鶴田ダム再開発事業

ダム再生ビジョンを代表するリーディングプロジェクト



所在地/鹿児島県 竣工日/2018年10月31日

6 阪神高速道路大和川線 シールドトンネル工事

特殊条件下における大断面シールドトンネルの施工



所在地/大阪府 竣工日/2019年3月31日

7 福島第一原子力発電所陸側遮水壁 (凍土壁)

世界最大の凍土遮水壁による廃炉・復興への貢献



所在地/福島県 竣工日/2018年3月31日

8 三種浜田風力発電所建設プロジェクト

ウインドリフト工法による巨大風車の組立



所在地/秋田県 竣工日/2017年10月31日

9 ハッ場ダム本体建設工事

高品質を確保しつつ大幅な工程短縮を実現



所在地/群馬県 竣工日/2020年3月31日

10 横浜北線鉄道(JR,京急)交差部 新設工事

10線路と立体交差する曲線桁の跨線道路橋



所在地/神奈川県 竣工日/2017年10月30日

【特別賞】

11 湖陵多伎道路多伎PC上部工事

橋梁工事の生産性向上・品質管理への取組み



所在地/島根県 竣工日/2019年1月31日

第2回 (2021年)

The 2nd Construction Excellence Prize

1 大分川ダム建設工事

フィルダム建設へのICT実装によるi-Construction推進加速



所在地/大分県 竣工日/2020年3月31日

2 鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事

運用中のダムにトンネル洪水吐を新設させるという非常に難易度が高い工事



所在地/愛媛県 竣工日/2019年11月29日

3 国道325号 阿蘇大橋上下部工事 (新阿蘇大橋 渡河部)

熊本地震からの早期復興に向けた阿蘇大橋の架け替え工事



所在地/熊本県 竣工日/2021年3月3日

4 首都高速1号羽田線 東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業 (1期)

高速施工と高耐久化を実現した都市高速道路の更新



所在地/東京都 竣工日/2020年5月28日

5 新名神高速道路 神戸ジャンクション建設プロジェクト

社会的影響を最小限にした供用高速道路のジャンクション増設工事



所在地/兵庫県 竣工日/2018年8月19日

6 中央自動車道(特定更新等) 弓振川橋床版取替工事

夜間のみ交通規制で床版を取り替える「DAYFREE」の開発と施工



所在地/長野県 竣工日/2021年5月24日

7 東京外環自動車道 大和田工事

住宅密集地における国内最大規模の開削トンネル・シールド工事



所在地/千葉県 竣工日/2019年7月9日

8 東京外環自動車道 京成管野アンダーパス工事

鉄道下の道路交差部函体の世界最大断面への挑戦



所在地/千葉県 竣工日/2018年3月31日

9 阪神高速道路 西船場JCT下部その他工事

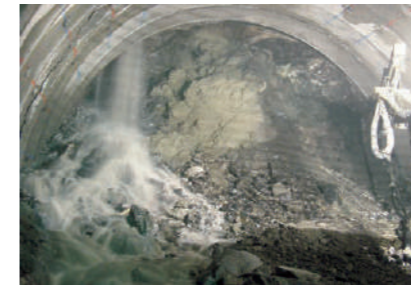
都市高速道路を供用しながらの拡幅技術



所在地/大阪府 竣工日/2020年8月31日

10 北薩横断道路 北薩トンネル出水工区

山岳トンネルの大量湧水を減水する「RPG(Ring-Post-Grouting)工法」の開発



所在地/鹿児島県 竣工日/2017年3月17日

【特別賞】

11 常磐橋修復事業

伝統技法の継承と最先端技術の組み合わせによる歴史的名橋の修復



所在地/東京都 竣工日/2020年9月30日



第3回 (2022年)

The 3rd Construction Excellence Prize

1 一般国道40号 音威子府村 音中トンネル工事

蛇紋岩の強大地圧下における山岳トンネルの建設



所在地/北海道 竣工日/2022年6月10日

2 千本ダム耐震補強改修プロジェクト

市民生活を支えて100年、文化遺産のインフラをメンテナンスでさらに100年



所在地/島根県 竣工日/2020年12月23日

3 相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事

駅の下に駅をつくる
~駅前交差点直下における大規模アンダーパニング



所在地/神奈川県 竣工日/2022年1月31日

4 高尾川地下河川整備事業

住宅密集地を流れる河川直下での地下河川整備



所在地/福岡県 竣工日/2020年7月30日

5 東京港臨港道路南北線沈埋函 (4号函・5号函・6号函) 製作・築造等工事

海中における長大コンクリート構造物
(沈埋トンネル函)の接合への挑戦



所在地/東京都 竣工日/2020年5月29日

6 東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事

鉄道営業線大規模改良工事における
BIM/CIMの実践



所在地/東京都 竣工日/2021年3月15日

7 東北自動車道 十和田管内高速道路リニューアル工事

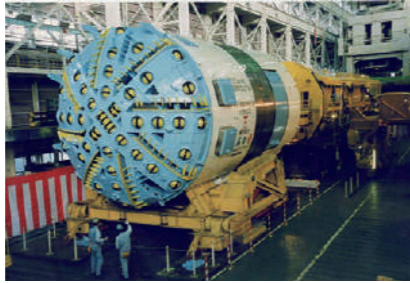
フルプレキャスト・コッター床版工法を用いた
新しい建設システムの構築



所在地/岩手県~青森県 竣工日/2022年3月22日

8 発電所水圧鉄管路のTBMによる 斜坑掘削プロジェクト(神流川発電所)

グリーン社会の実現に向けた
水力発電需要に貢献する斜坑掘削技術の発展



所在地/群馬県 竣工日/2008年4月30日

9 阪神高速12号守口線床版更新工事

既設床版急速撤去工法と高耐久軽量PCaPC床版
を用いた床版更新技術の高度化



所在地/大阪府 竣工日/2021年4月30日

10 山須原発電所ダム通砂対策工事

国内初! 3ダム連携通砂事業を目指した
ダムリニューアルへの挑戦



所在地/宮崎県 竣工日/2022年5月31日

【特別賞】

11 史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事

文化財である城跡の木造橋を日本初の工法で復元

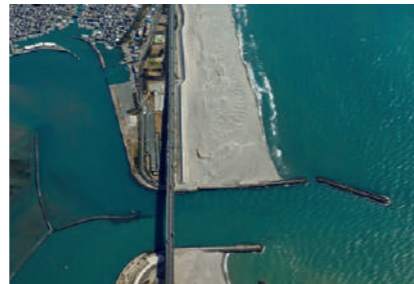


所在地/鳥取県 竣工日/2019年3月29日

【特別賞】

12 浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 浜松防潮堤建設工事

地元と共に造った「CSGによる」日本最長「防潮堤」



所在地/静岡県 竣工日/2020年5月7日

第4回 (2023年)

The 4th Construction Excellence Prize

1 赤谷3号砂防堰堤工事

国内初となる災害現場における砂防堰堤自動化施工



所在地/奈良県 竣工日/2023年3月20日

2 天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部 建設工事(1期~Ⅲ期)

困難な条件下における国内初の
超大断面トンネル型減勢工の建設



所在地/京都府 竣工日/2023年3月31日

3 五十里ダム施設改良工事・五十里ダム 取水放流設備新設工事

今後のハイブリッドダムの取組みを促進する
無振動ダム堤体削孔技術の開発



所在地/栃木県 竣工日/2020年2月27日

4 環2地下トンネル(仮称)及び築地換気所 (仮称)ほか築造工事(27-環2築地工区)

高度に土地利用がされた東京都心での
道路建設における施工面での様々な工夫



所在地/東京都 竣工日/2023年3月16日

5 北大阪急行線の延伸事業のうち 土木工事

地上49階の高層マンションに近接した支障物撤去
とシールド掘進を住民合意形成のもと施工



所在地/大阪府 竣工日/2023年6月30日

6 JR 飯田橋駅ホーム移設事業

徹底した機械化による急速施工で安全性向上
「過去に例のない軌道低下・ホーム低下工事」



所在地/東京都 竣工日/2022年5月31日

7 多摩川スカイブリッジ

国内最大の支間長を誇る橋梁~空、橋、河川の三層
が織りなす優雅な曲線とスレンダーなシルエット~



所在地/神奈川県~東京都 竣工日/2022年3月31日

8 中央自動車道上田川橋の床版取替え

オールプレキャストによるPC合成桁橋の
床版取替え技術の開発と急速施工



所在地/長野県~岐阜県 竣工日/2021年3月15日

9 北陸新幹線 福井開発高架橋建設プロジェクト

国内初のフルプレキャストによる
鉄道ラーメン高架橋の急速施工



所在地/福井県 竣工日/2021年7月5日

10 陸前高田市震災復興事業の 工事施工等に関する一体的業務

土砂運搬専用吊り橋により工程を大幅に短縮した
大規模土工事



所在地/岩手県 竣工日/2021年2月28日

【特別賞】

11 廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事

名門ゴルフ場を90年前の美しい原形へ復元する
-英国人設計者とともに歩んだ9か月-



所在地/兵庫県 竣工日/2019年9月30日

【特別賞】

12 芽登第二発電所 導水路改造プロジェクト

前例のない発破方法により極寒地の日本最古級
PC水路橋を解体! 電力インフラの導水路を更新



所在地/北海道 竣工日/2022年7月29日



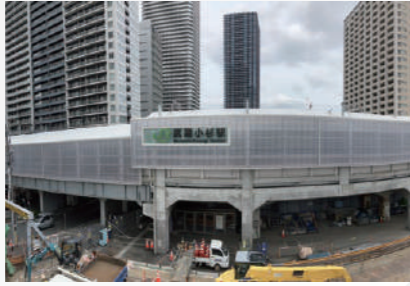
1 秋田新幹線齊内川橋りょう改築工事



所在地 秋田県大仙市
施設管理者 東日本旅客鉄道
設計者 JR東日本コンサルタンツ
施工者 鉄建建設
関係者 ジェイテック ユニオン建設
羽賀興業 川田建設
宮地エンジニアリング
第一建設工業 日本電設工業
日装施設 ハンシン建設
日本基礎技術
着工日 2017年7月27日
竣工日 2023年2月28日

工期を2年短縮した活線施工での河川改修事業のための新設橋りょう工事
齊内川において堤防が決壊し浸水被害が発生したことを受け、1径間開床式PRCランガージ橋(橋長71.1m)を採用した新幹線初となる横取り一括架設による橋りょう改築工事。

2 JR横須賀線武蔵小杉駅2面2線化他



所在地 神奈川県川崎市
施設管理者 東日本旅客鉄道
設計者 JR東日本コンサルタンツ
施工者 大林組
関係者 小林工務店 大木建設
JFEスチール ジェコス
着工日 2019年11月29日
竣工日 2023年9月20日

ECI方式での設計・施工による駅周辺の混雑緩和に向けた取り組み
JR武蔵小杉駅利用者の急増による混雑緩和と利用者の電車との接触・転落事故等のリスク対策として、1面2線のホームを「安全に早く」2面2線のホームに改築する工事。

3 首都高速道路 高速大師橋更新事業



所在地 東京都大田区、神奈川県川崎市
施設管理者 首都高速道路
設計者 大成・東洋・IHJ・横河高速大師橋更新事業異工種JV
関係者 日本通運 寄神建設 島川工業
ナブコ オックスジャッキ
八千代建設 大成ロテック
日本リーテック
深田サルベージ建設 技研施工
川野建設 第一カッター興業
日本庄送 竹本基礎工事
着工日 2017年6月23日
竣工日 2023年6月9日

高速1号羽田線の交通規制を伴った河川上での横取り一括架設
交通量一日約8万台の重交通路線の老朽橋架け替え工事。通行止め2週間という限られた時間内で、交通への影響、河川環境・近隣住民への影響を如何にして最小限に抑えるのか。

4 新日下川放水路工事



所在地 高知県高岡郡日高村~吾川郡いの町
施設管理者 国土交通省四国地方整備局
設計者 いであ
施工者 鹿島建設
関係者 熊谷組・大豊建設特定JV
協拓建設 タカハシ工務店
ガイアート 日特建設
着工日 2018年1月17日
竣工日 2023年7月31日

早期通水により浸水被害から地域を守る国内最長の放水路工事
国内最長となる狭隘トンネル放水路の新設に向け、様々な機械化、自動化、IT化技術を開発し、導入することで、施工時の安全性向上や人員削減、工期短縮を実現している。

5 新宿駅東西自由通路新設他



所在地 東京都新宿区
施設管理者 東日本旅客鉄道
設計者 JR東日本コンサルタンツ
施工者 大成建設
関係者 高橋建設 日特建設
着工日 2012年9月26日
竣工日 2022年5月20日

約300万人が利用する世界一のターミナル駅周辺の回遊性向上
新宿駅は1日当たり約300万人が利用する世界最大のターミナル駅であるが、鉄道施設により東西のまちが長年分断されていた。

6 清内路水力発電所 新設工事の内土木・建築本工事



所在地 長野県下伊那郡阿智村
施設管理者 中部電力
設計者 JR東日本コンサルタンツ
施工者 前田・西松・シーテック・吉川・木下JV
関係者 木下工務所 橋本建設
中日本技工 丸河商事
櫻井技研工業
着工日 2018年3月1日
竣工日 2022年7月20日

日本一の星空の村で日本一狭いトンネルをNATM工法で5km掘削
巨大な堤体を要するダム式に比較して、堰堤からの取水により低コストで環境負荷の少ない流れ込み式水力発電所の建設工事。

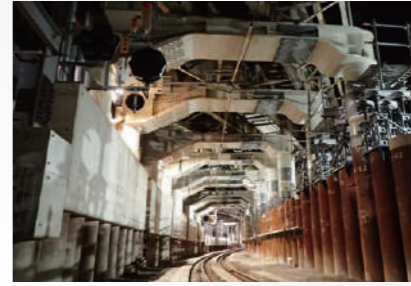
7 玉来ダム本体建設工事



所在地 大分県竹田市
施設管理者 大分県
設計者 建設技術研究所
施工者 大成・菅・友岡特定JV
関係者 高山組 玉石重機 日特建設
成豊建設 ヤマウ
着工日 2017年4月1日
竣工日 2023年3月15日

洪水被害を経験してきた市民に安全・安心を提供する洪水調節専用ダムの建設
度重なる洪水被害を受けた竹田市民への安心・安全を提供するダム建設事業。

8 東海道線支線南2地区路盤新設他工事



所在地 大阪府大阪市
施設管理者 西日本旅客鉄道
設計者 ジェイアール西日本コンサルタンツ
施工者 大成建設・大鉄工業特定JV
関係者 駒井ハルテック MARUTA
吉田重機建設
オカモト・コンストラクション・システム
山柿工業 田村建設
ハンシン建設 大成ロテック
高砂金属工業 根建組 ミック
喜多重機興業 守軌道 林正
オックスジャッキ
着工日 2016年3月31日
竣工日 2024年2月29日

狭隘近接東海道本線営業線直下での交差部受替・直下切換工事
営業中の現在の線路を直下で地下化する工事。

10 三ツ子島埠頭 第三棧橋新設工事



所在地 広島県呉市
施設管理者 三ツ子島埠頭
設計者 五洋建設
施工者 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
関係者 港湾空港技術研究所
国立大学法人東京工業大学
大新土木 深田サルベージ建設
パシフィックコンサルタンツ
三ツ子島埠頭
着工日 2021年7月1日
竣工日 2023年8月31日

国内初のRC中空構造を採用した大型プレキャスト部材による棧橋の急速化施工
新設の棧橋上部工に軽量化のために発泡スチロールを内包した大型RC中空プレキャストフラットスラブを採用した工事。

【特別賞】 11 蔵玉隧道・拡幅工事(県単道路改良(幹線)工事)



所在地 千葉県君津市
施設管理者 千葉県
設計者 サンコーコンサルタント
施工者 飛鳥・伊藤特定JV
関係者 国道465号/バイパス期成同盟会
着工日 2020年12月23日
竣工日 2023年3月24日

道路使用の安全と周辺住民の生活環境に配慮したトンネル活線拡幅の施工
車がすれ違えない国道トンネルで、車を通しながら拡幅する「活線拡幅」を実施。

9 阪神高速3号神戸線床版更新工事



所在地 兵庫県神戸市
施設管理者 阪神高速道路
設計者 飛島建設 鹿島建設 清水建設
関係者 第一カッター興業
オリエンタルコンサルタンツ
富士ビー・エス デンカ
住友電気工業
丸栄コンクリート工業
昭和コンクリート工業
ユニタイト 巴機械工業
王子ホールディングス 進見
着工日 2022年8月30日
竣工日 2023年10月31日

工期短縮と社会的影響の最小化に貢献する都市高速道路の床版更新技術
都市高速道路の社会的影響の最小化や構造面で解決すべき課題をこれまでに培った知見や最新の技術を駆使して解決した床版更新工事。

【特別賞】 12 白川発電所 熊本地震の震災復旧工事



所在地 熊本県菊池郡大津町
施設管理者 JNC
発注者 JNC
設計者 JNC エンジニアリング
熊谷組 八千代エンジニアリング
文建築事務所
施工者 熊谷組
関係者 共栄機械工事 笹島建設
日特建設 キサイテクト SNC
着工日 2015年6月22日
竣工日 2020年5月15日

震源断層などの影響で被災した長距離かつ狭小な導水路トンネルの復旧と再生
2016年熊本地震の震源断層で被災した狭小な導水路トンネルの復旧工事。



※竣工日は一部、部分竣工日を表記している場合がございます。

受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2024

選考～受賞後

第二次選考の様子（現地調査、プレゼンテーション）



表彰式の様子



表彰パネルの設置風景



阿蘇大橋地区斜面防災対策工事
(第1回土木賞受賞)

国道325号阿蘇大橋上下部工事（新阿蘇大橋渡河部）
(第2回土木賞受賞)

大分川ダム建設工事（第2回土木賞受賞）

年間スケジュール

11月	次年募集要項発表
1月	募集(約1カ月)
～4月頃	第一次選考(書類選考)
～6月	第二次選考(現地調査、プレゼンテーション)
8～9月	選考結果公表
11～12月	表彰式

応募プロジェクトの事例

事例1 技術開発により大幅な生産性の向上(工期短縮)を図った工事

- 施工プロセスの視点

生産性向上(工期短縮)	環境の維持(CO ₂ 排出量削減)
-------------	------------------------------

急速施工技術として実績のある〇〇工法について打設後、〇時間で型枠が外される状況でも所定の耐久性を確保できることを確認し、同工法の採用を決定、大幅な工期短縮を実現した。

事例2 徹底的な無人化施工技術の活用により、工事現場の安全確保を図った工事

- 施工プロセスの視点

生産性向上(機械化・ロボット化、i-Construction)	
特別な事業マネジメント	復興支援

人が立ち入ることができない条件の工事現場において、調査・設計・施工・管理のすべての段階においてi-Constructionを取り入れ、安全かつ迅速に工事を進めるとともに、受発注者が一体となった事業マネジメント体制を構築することで、早期完成を実現した。

事例3 狭隘で制約が多い小規模現場を工夫により問題解決を図った工事

- 施工プロセスの視点

生産性向上(工期短縮)	特別な安全対策(第三者、施工者)
小規模工事	

他工事近接現場で、人力による運搬に頼らざるを得ない等の小規模ながら施工条件に制約が多く、工期遵守や安全性向上のために、建設機械の改良、張りブロックの小型化の提案などにより、これらの課題を解決した。